

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 電子工学科 システム工学科		
担当教官名	田中 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>前期に引き続き、世界の有名人、食物、言語、環境問題などの興味深い読み物を、日本語を介さずに速読して理解できる力を高めます。また前期で学習した論理的なパラグラフを書くために必要な基本事項を踏まえて、様々なパラグラフ・ライティングに挑戦し、最終的には、エッセイの書き方を学習します。即ち、読解力・語彙力をつけながら、英文を書く規則を学び、英語による自己表現力の更なる向上を目標とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
<p>Weaving It Together 3 - Connecting Reading and Writing Milada Broukal 著 (トムソンラーニング社)</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各課ごとに概ね以下の項目に沿って進めます。

- Reading Section -

- ・ 様々なテーマに沿ったストーリーの速読と主要な語彙・表現の確認
- ・ 主要な見解 (main idea) と詳細情報 (details) の両方を練習問題等を通じて把握 (スキミング・スキミングの訓練など)
- ・ ペアやグループでのディスカッション
- ・ 速読演習

- Writing Section -

- ・ 前期で学んだパラグラフ・ライティングの基本事項の確認及び演習
- ・ 複数のパラグラフから構成されるエッセイの書き方を学習

- その他 -

CNN ビデオを用いてのリスニング練習及びディスカッションなど

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：小テスト、クイズ、課題（授業中に指示）の達成度、出席/授業への積極的参加を総合的に評価します。

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とします。

- ・ 様々なテーマのストーリー（600語程度）の大意を時間をかけずに的確に理解できる。
- ・ 平易な英語を使って、自分の伝えたい事を書くことが出来る。
- ・ 決められた課題が全て受理されている。
- ・ 学期中3分の2以上の出席を満たす。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は授業時間の前後、または上記教務課共通mailで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

皆さんの積極的な参加が不可欠の授業です。五感を総動員し授業時間を十分活用して楽しく英語を学んで下さい。

【その他】